

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成27年9月18日(金) 本社会議室	
委員	角田 茂(学校法人参事) 西谷隆亘(大学名誉教授) 田中俊充(弁護士) 栗田 誠(大学院教授)	
審査対象期間	平成27年4月1日～平成27年6月30日	
抽出案件	総件数 5 件	(備考)
工事	一般競争	1 件
	公募型指名競争入札	0 件
	通常指名競争入札	1 件
	随意契約	0 件
建設コンサルト	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	1 件
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0 件
	標準プロポーザル	0 件
	一般競争	1 件
	通常指名競争	0 件
	随意契約(競争性のある)	0 件
	随意契約(特命随意契約)	0 件
	補償契約	1 件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	1. 一般競争入札(工事)	
	【事業用地内斜面等補修工事】	
	・この工事は総合評価をする内容ではないと思うが、何か基準で決まっているのか。	・一般競争入札で予定価格 500万円以上の工事は総合評価をすることとしています。
	・その考え方はどこにあるのか。	・一般競争では、どういう者が入ってくるかわからないので、技術的評価を入れて、不良不適格業者を排除することとしています。
・普通の建設会社であれば誰でもできるような工事について、総合評価を行ってもほとんど差がつかない。手続きが煩雑になるだけではないか。	・手続き的には単なる一般競争より少し手間がかかると思いますが、今回は簡易な施工計画を求めており、適切な施工計画が立てられる業者を選定するという点で意味はあると考えています。	
・低入札価格調査を行って、安くできることが確認できたら、次の予定価格作成の時に反映しないのか。	・一般的に労務費とか機械損料は決められた金額があるので、それを用いて積算することとしています。	

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

	2. 通常指名競争入札（工事）	
	【ダム下流広場維持管理工事】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・この工事は、春から夏にかけて毎年度発注しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度発注しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・秋から冬にかけては、特にこういう維持管理は要らないので、春から夏にかけてのみ発注しているということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回に分け、本工事と同様の工事を下半期にも発注しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・指名業者の選定について、美山町を除いて2つのグループに分けているが、ずっと同じグルーピングでやってきたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの町が合併して現在の南丹市になっていますが、この中で各町ごとの単位で、ちょうど半分半分ぐらいの数になるということで、同じグルーピングで行ってきました。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ町の業者同士が常に一緒に指名されるという状況は、事前の調整が行われやすくなる要因になると思う。同じ所在地でグルーピングを固定することは適切でないという印象を持った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーピングの仕方について、各旧町に対して平等にということこれまで考えてきたところですが、見直しも含めて問題のない形になるよう検討していくこととします。 	
	3. 公募型・簡易公募型プロポーザル入札（土木関係コンサルタント業務）	
	【大規模地震対策秋ヶ瀬取水堰耐震補強実施設計業務】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・評価テーマのところは50点という配点になっており、工法1と工法2で25点ずつで評価されているが、工法1と工法2は両方採用できるわけではなく、ベストな工法を採用することだとしたら、それぞれを50点満点で評価して、高い方の点数を評価テーマの評価点とするべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、案1の評価において18点与えておりましたが、この工法が詳細設計をしていく中で本当に一番有利な方法なのか、あるいは案2のほうが本当は有利な方法ではないのかということについて、業務の中で検討を行っているところです。応募者に複数案を提示してもらうことで、機構としては最適な受注者を選定するというのも、一つ大事なことを考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のプロポーザル方式は、工法を選択するよりも、業者を選択するための手続きだったということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案された工法の実現性等に着目して評価しており、工法を介して業者を選定させていただくということかと考えています。 	

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1者に特定されて、その業者と契約する前に予定価格を設定されているが、それはどの工法に基づいて積算しているのか。それからもう一つ、業者からは見積りをもう一回とっているが、これもどの工法をとるかによって違ってくるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結果としては、私どもの仕様書を満たした業務内容となっておりますので、今回であれば最適な 18 点というものを前提に積算を行いました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ その結果、予定価格が当初見込んだ業務規模よりも少し高くなったということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水資源機構の積算基準において、4月以降の積算基準が一般管理費、いわゆる諸経費と言われる部分の率が上がったことにより、予定価格も上がったということです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術提案の点数は、採点を行った委員の点数を集計して算出しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3人で評価を行い、それぞれの委員の合計点を技術点としています。
4. 一般競争入札（土木関係コンサルタント業務）		
【矢木沢ダム修理用ゲート設計業務】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本案件は電子入札か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目の入札で落札しなかったもので、2回目を行ったということだと思うが、前回の委員会の説明では、電子入札の場合、すぐに2回目の入札を行うと聞いた記憶があるが、なぜ、2回目の入札をすぐに行わなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金曜日の午前中に開札を行い、午後から2回目の入札をしていただくための時間を半日とりました。その時間を午後5時までとしたので、業務時間が終わるということから、月曜日に2回目の開札を行いました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩掛かりの見積りを徴取されたということだが、それはどこの会社からとったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページでの公募と、書面による指名で徴取しました。指名は、それぞれ業務の履行実績や同種の業務実績、それと技術者のほうから絞り込みを行い、5社に依頼しました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩掛かり見積依頼を指名した5者には競争参加資格申請書を提出していただけたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5者のうち2者から競争参加資格申請書が提出されております。

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

	5. 補償契約	
	【地上権設定対価（第8次）】	
	<p>・地上権を設定した場合、地代は発生するのか。</p>	<p>・地上権設定費用というのは、土地価格に対して、土地の上部の利用をどれだけ阻害するかという観点から、土地代の一部分をお支払いしているような形になっていますので、1回お支払いしたら、機構の施設がある限り、永久に使用することができる権利を設定させていただいており、地代は発生しません。</p>
	<p>・地上権設定の対象となっている水田の所有者は相当数いるが、今回契約した者がたまたま2件だったということなのか。</p>	<p>・順次契約の交渉を進めていますが、今回の入札等監視委員会の審議対象期間に契約をした者が2件だったということです。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	・なし

○問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1-2番地2

ランド・アクセス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

技術管理室契約企画課長 河野 裕明（内線 2251）

技術管理室担当課長 今井 敬三（内線 4631）

用地管財部用地補償課長 杉浦 正人（内線 2331）